光桂寺だより

第225号

真宗大谷派　光　桂　寺　〒838-0133 福岡県小郡市八坂201
TEL 0942-72-2432　FAX 0942-72-2486　印刷　片山印刷（有）

住職就任のご挨拶

去る九月二十八日、本山（真宗本廟、東本願寺）の親鸞聖人御真影の前において、光桂寺住職に任命され、一六三〇年開基の初代から数えて十六代目の光桂寺住職を受け継ぐことになりました。

前住職の長男として生まれましたが、コンピュータや電子工作に興味があり、大学は工学部に進み、半導体分野で工学博士号を取得後、福岡市の半導体設計子会社でエンジニア・マネージャとして十七年あまり勤めておりました。ちょうど五年前に会社を退職し、住職代理として法務を勤めておりましたが、このたび住職を交代することになりました。

庫裏の改築という一大事業を控える中での住職継承になりますが、ご門徒あってのお寺です。ご門徒や地域の皆さんの「よりどころ（寄りどころ／依りどころ）」となるよう努力していく所存ですので、よろしくお願い致します。

新坊守の紹介

宗門の「住職の配偶者が坊守となる」決まりにより、住職交代と同時に坊守も交代となりました。

太宰府市の一般家庭で育ち、目の不自由な方のリハビリテーションへの関心から、大学では盲学校教員養成課程に進学。卒業後さらに目の不自由な方の生活訓練を学びました。

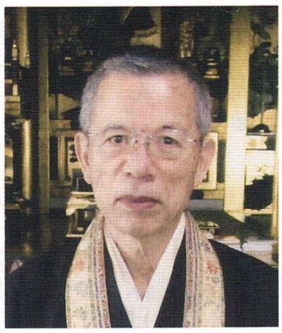
これまで保育園の事務として働く傍らで、時折目の不自由な方へ白杖歩行訓練や日常生活訓練を行ってきましたが、今後は坊守としてお寺の仕事にも力を尽くしていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

御正忌報恩講のご案内

十二月十七日（土）・十八日（日）

○十三時　おつとめ
○十三時半　御法話
講師　徳常寺様

※十七日は十八時から「初おばん」が勤まります。
お世話前（十二時半までにおいで下さい）
十七日　平方、光行、古飯、宝城団地
十八日　末次
よろしくお願いいたします。
※おときの代わりに、パンとお茶をお配りします。



講師紹介
塚本　慈顕 師
みやき町
浄土真宗本願寺派
徳常寺前住職

永代経志ご寄付者ご芳名

誠にありがとうございました。

十　月

　　様

報恩講について

「報恩講」とは、宗祖親鸞聖人のご命日にちなみ、親鸞聖人をはじめ、念仏の教えに生きられた方々に思いをいたし、その恩徳に感謝する法要です。教えを聴聞し、自らの生活を振り返る、真宗門徒にとって一年で最も大切な仏事です。本山では、親鸞聖人のご命日である十一月二十八日を満日中として八日間勤まりますが、光桂寺でも毎年十二月十七日、十八日の二日間、報恩講をお勤めします。

両日とも、十三時より「正信偈」をお勤めし、その後十三時半前後から御法話を頂きます。御講師は例年と同じく、みやき町徳常寺の塚本慈顕先生です。お西（本願寺派）のお寺になりますが、節談説教という伝統的なお説教の大家でもいらっしゃいます。

門徒会会費のご依頼

ご本山への納金を主目的として門徒の皆さまに広くご負担頂いている門徒会会費、今年度もご納金のほど、よろしくお願いします。地元の方は総代さんや世話人さんを介して、遠方の方は同封の振込用紙により郵便局にてお納め下さい。

○ 今年度の門徒会会費　7千円

庫裏建設の経過報告

諸々遅れております庫裏建設ですが、昨年の懇志金募財開始から九月末日までにお納め頂いた方に、お礼と受領証を発送しております。現在、建設業者の絞り込みと見積の調整を行っている所で、今年中には契約を結び、来年早々に解体開始となる見込みです。

味坂保育園園舎の建替え

老朽化している木造の南側園舎を中心に、補助金の交付が確定しましたので、味坂保育園の園舎の増改築を実施することになりました。補助金の関係で、二〇二四年三月までの竣工を求められており、早ければ来年早々から対象建物の解体・建設工事が始まる見込みです。庫裏の改築と時期が重なってしまうことになり、皆さまにはさらにご不便をおかけするかもしれませんが、ご理解のほど、よろしくお願いします。

なお、味坂保育園は宗教法人光桂寺の経営ですが、会計は完全に分離されており、園舎の増改築に対して、お寺側からの金銭的負担は一切発生しないこと、念のため申し添えておきます。

光桂寺だより二二四号の訂正

・おくやみ
九月六日の「　　様」は
「　　様」の誤りです。
大変失礼しました。

・十月二十二日の永代経のお世話前
正しくは「城、京手、十楽」でした。
以上二点、お詫びして訂正致します。

二〇二三年度の年忌法要

二〇二三年（令和五年）度の年忌は次の表の通りになります。一周忌のみ満で数え、それ以降は数え年です。新年を迎えましたら、光桂寺本堂に「年回表」を張り出しますので、お参りの際にご確認ください。

なお、年忌の法事は命日の前でも後でも構いません。特に土日や休日はご要望に沿えないことも多いので、ご相談はお早めにお願いします。

一周忌	二〇二二年（令和四年）	没
三回忌	二〇二一年（令和三年）	没
七回忌	二〇一七年（平成二十九年）	没
十三回忌	二〇一一年（平成二十三年）	没
十七回忌	二〇〇七年（平成十九年）	没
二十五回忌	一九九九年（平成十一年）	没
三十三回忌	一九九一年（平成三年）	没
五十回忌	一九七四年（昭和四十九年）	没
百回忌	一九二四年（大正十三年）	没

謹んでおくやみ申し上げます

九月二十九日	[redacted]
十月十四日	鳥栖
十一月三日	十楽
十一月十七日	横隈
	城